



15画	糸 細 絹 縄 緡 縄
	なわ ジョウ

なりたち 旧字体は縄。纏(まき)のぐるぐる飛び回る意味とその会意形声字。糸をよる」との意味。

かりたち 旧字体は縄。纏(まき)のぐるぐる飛び回る意味とその会意形声字。糸をよる」との意味から「基準」の意味。

▼墨縄。直線を引く道具。

## 縄索

10画	一 ナ 壬 呂 索 索
	さく サク

なりたち 草を表した中と、これを両手(ハ)でより合わせて索にすることを表した会意形声字。草の繊維やわらで作つた、墨縄(木や石に直線を引く道具)の意味から「基準」の意味。

索縄(くわいね)：①縄を張つて境界を決めること。②勢力範囲。(特にやくざなどの)として縄で縛られること。

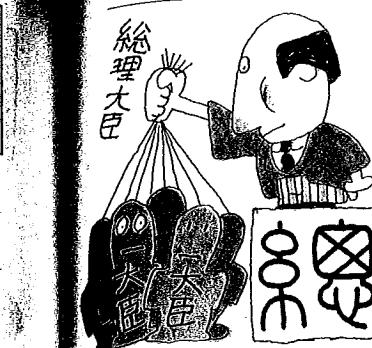
縄文(くわいもん)：古代の土器の表面に施された縄やむしろの編み目のような模様。例縄文式土器との会意形声字。糸をよる」との意味。

捕縄(つかいね)：罪人を縛る縄。自縄(じね)：自分で作った縄で自分を縛ることから、自分が言つた事・やつた事で身動きがとれなくなつて困ること。

▼縄。縄目：①縄を張つて境界を決めること。②罪人として縄で縛られること。

縄文：古代の土器の表面に施された縄やむしろの編み目のような模様。例縄文式土器との会意形声字。糸をよる」との意味。

捕縄：罪人を縛る縄。自縄：自分で作った縄で自分を縛ることから、自分が言つた事・やつた事で身動きがとれなくなつて困ること。



なりたち 旧字体は総。心の窓(まど)の本字(ほんじ)が開かれて聴(き)い意味の恩(おん)と糸との会意形声字。沢山の糸を巧みに処理する意味の字。まとめて上手に処理する「統べる」と。転じて、「総(すべて)の意味の全体」。

▼総(すべて)の意味の全体。総代(ぜんたい)：全体の代表者。総則(ぜんそく)：全体に当てはまる大もとの規則。総帥(ぜんすい)・総勢(ぜんせい)・總身(ぜんみ)

▼総(すべて)の意味の全体。総計(ぜんけい)：全体の合計。総體(ぜんたい)：全体。用例(ようり)：総体的に言えば、総意(ぜんい)：全員の意見。総數(ぜんすう)：全体の数。総理(ぜんり)：①事務を統べること。②内閣総理大臣(ないかくぜんりだいじん)の略称。

【5年】

14画

く	糸 細 絹 級 総 総
	はねる

いみとじゅくい  
▼統べる。まとめる。

総括(そうかつ)：①全体を一つにまとめて取り締まること。②全体をまとめて総裁(そうさい)：全体の事務を統べること。

いみとじゅくい  
▼統べる。まとめる。

総合(そうごう)：別個のものを一つにとりまとめること。

総取り(そうとり)：①全体を一つにまとめて取り締まること。②全体をまとめて総裁(そうさい)：全体の事務を統べること。

## 統

12画	糸 細 絹 級 総 総
	トウ

【5年】

12画

く	糸 細 絹 級 総 総
	はねる

いみとじゅくい  
▼統べる。一つにまとめる。

統一(とういつ)：一つにまとめるもの。

いみとじゅくい  
▼統べる。一つにまとめる。

統合(とうごう)：いくつかのものを一つにまとめて合わせること。

統治(とうぢ)：統べ治めること。主権(しゅせん)者が国土や人民を治める権力。

統轄(とうか)：一つにまとめて管理すること。

統括(とうかつ)：別々のものを一つにまとめて管理すること。



なりたち 生まれた子(こ)が成人(せいじん)する意味の充(まつり)足(あつ)り。ユウの転音(てんおん)と糸との会意形声字。細い糸を沢山束ねて、一本の太い糸にするのことを表した字。一つにまとめる「統べる」とこと。

▼一続きになつているもの。血統(けつとう)：代々受け継がれて来た仕来りや傾向など。例(よくわざ)：血統書(けつとうしょ)。

統御(とうぎょ)：全体を取りまとめて支配(しはい)すること。統帥(とうすい)：軍隊(ぐんたい)の帥(さし)を統べ治め、指揮(しげい)すること。

▼索(さく)：①麻などをよつたものを芯(いん)とし、これに針金(はりがね)をよつたものを巻きつけて作った繩(くわい)。ワイヤロープ。

▼探し求める。捜索(さうさく)：探し求める。

模索(もさく)：手探りで探すこと。良(よ)い手本(てもん)が無いため、あれこれと試しながら良い方法(ほうぽう)を探すこと。例(よくわざ)：暗模索(あんもさく)：書物(しょもく)の中の項目(こうめい)や語句(ごき)を探し出すための表(ひょう)。

索漠(さくばく)：ものさびしい様子(ようす)。